



MFX-C2860/C2260/C2260K

ユーザーズガイド

操作パネルについて

もくじ

1 操作パネルのキーの名前とはたらき

2 タッチパネルの操作と主な画面の紹介

2.1	タッチパネルについて	2-2
2.1.1	タッチパネルの操作	2-2
	タップ	2-2
	フリック	2-2
	ダブルタップ	2-3
	ドラッグ	2-3
	パン	2-3
	ロングタップ	2-4
	ドラッグ&ドロップ	2-4
	ピンチイン/ピンチアウト	2-4
	ローテーション	2-5
2.1.2	テンキーの操作	2-5
	テンキーの表示	2-5
	テンキーの移動	2-5
2.1.3	入力/選択画面の切換え操作	2-6
2.1.4	タッチパネル使用上のご注意	2-6
2.2	トップメニューについて	2-7
	トップメニューを表示する	2-7
	トップメニューに配置する機能を選ぶ (管理者向け)	2-8
	トップメニューのテーマを変更する (管理者向け)	2-10
2.3	トップ画面について	2-11
2.3.1	画面の構成	2-11
2.3.2	各モードに表示する機能キーをカスタマイズする (管理者向け)	2-12
	機能キーの表示パターンを選ぶ	2-12
	トップ画面に表示する機能キーを選ぶ	2-13
2.3.3	現在の設定内容を確認する	2-14
	コピーモードの設定確認	2-14
	ファクス/スキャンモードの設定確認	2-14
	ボックスモードの設定確認	2-15
2.4	スライドメニューについて	2-16
	スライドメニューとは	2-16
	スライドメニューを開く/閉じる	2-16
	スライドメニューに割当てる機能を変更する	2-17
2.5	アイコンの種類	2-18
	本機の状態を示すアイコン	2-18
	入力/選択画面に切換えるアイコン	2-18
	実行中ジョブの種類を示すアイコン	2-19
2.6	実行中ジョブ/ジョブ履歴を確認する	2-20
	ジョブ画面を表示する	2-20
	実行中のジョブを確認する	2-20
	ジョブ履歴を確認する	2-21
	通信レポートを印刷する	2-21
2.7	本機の各種設定をする	2-22
	[設定メニュー] を表示する	2-22
	管理者設定を表示するには	2-23
	本機の利用状況の取得を許可する	2-24

3 タッチパネルにヘルプを表示する

ヘルプメニューを表示する	3-2
消耗品交換/紙づまりの処理手順を表示する	3-3

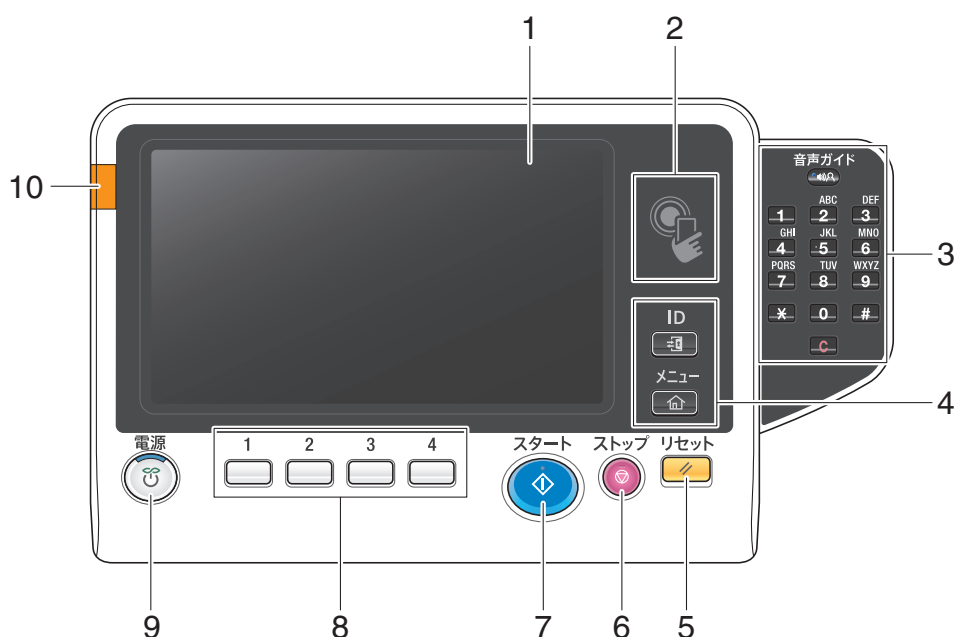


4	タッチパネルにウィジェットを配置する （[ウィジェット]）	
	ウィジェット配置機能について	4-2
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	4-3
	ウィジェットの配置／登録のしかた.....	4-3
5	タッチパネルの消費電力を抑制する（[Eco 設定]）	
	[Eco 設定] について	5-2
	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	5-2
	Eco 設定の設定値を変更する	5-2
6	登録キーに割当てて機能を変更する	
7	本機の電源を管理する	
7.1	電源キーの使い方	7-2
	購入時の状態でお使いの場合	7-2
	副電源 OFF キーとしてお使いの場合.....	7-2
7.2	電源キー／パワーセーブの動作を設定する（管理者向け）.....	7-4
7.3	決まった時間に節電モードに切り換える（管理者向け）.....	7-5
	ウィークリータイマーを使う	7-5
	ウィークリータイマーの作動中に本機を使う	7-5
8	ログイン画面について	
	本機にログインする	8-2
	ユーザー認証（本体装置認証）を実施する	8-2
	ユーザー認証（外部サーバー認証）を実施する.....	8-3
	部門認証を実施する	8-5
	操作権限を選択してログインする.....	8-6
9	文字入力のしかた	
10	Android/iOS 端末を使って文字を入力する（Keyboard Link）	
10.1	Keyboard Link 機能について.....	10-2
10.2	Keyboard Link の準備	10-3
10.2.1	準備の流れ	10-3
10.2.2	お使いになるために必要な作業（管理者向け）.....	10-3
	LAN ケーブルの接続を確認する	10-3
	ネットワークの設定を確認する.....	10-3
	Keyboard Link 機能を有効にする.....	10-4
	Android 端末と連携するための設定をする	10-4
	iOS 端末と連携するための設定をする	10-4
10.3	文字の転送のしかた	10-5
	Android 端末をお使いの場合.....	10-5
	iOS 端末をお使いの場合	10-5



操作パネルのキーの名前とはた
らき

1 操作パネルのキーの名前とはたらき



参考

- 本図はオプションのキーパッドを装着しています。

No.	名前	説明
1	タッチパネル	設定画面やメッセージを表示します。 直接タッチして操作します。
2	モバイルタッチエリア	本機と NFC 対応 Android 端末を連携させるときに使用します。 Mobile for Android をインストールした Android 端末をモバイルタッチエリアにかざすことで、本機の登録やユーザー認証ができます。 - Android 端末との連携について詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。 - Android 端末のユーザー認証について詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [本機を使えるユーザーを制限する]」をごらんください。 また、本機と Bluetooth LE 対応 iOS 端末を連携させるときにも使用します。Bluetooth LE を使うには、オプションのローカル接続キット（音声ガイド / Bluetooth 用）が必要です。 iOS 端末を本機に近づければ、Mobile for iPhone/iPad からの操作で、本機の登録やユーザー認証ができます。 - iOS 端末との連携について詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。 - iOS 端末のユーザー認証について詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [本機を使えるユーザーを制限する]」をごらんください。

No.	名前	説明
3	キーパッド	テンキー：部数や倍率など、数値を入力します。また、番号の付いた設定キーの選択にも使えます。 C(クリア)：テンキーで入力した数値（部数、倍率、サイズなど）をすべて取消します。 音声ガイド：拡張機能の一つである、音声ガイドを利用できます。拡大表示画面、ユニバーサル設定画面、ガイド画面を表示しているときに、音声による説明を開始／終了します。 - 音声ガイドの使い方について詳しくは、「ユーザーズガイド [拡張機能] / [音声ガイドを使う]」をごらんください。 - 音声ガイドを使うには、オプションの拡張メモリー、i-Option3 (音声ガイド)、ローカル接続キットが必要です。 - 音声ガイドを長く押すとヘルプメニューを表示できます。
4	ID	本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合に、ログイン画面で認証を実施します。 ログインした状態で ID を押すと、ログアウトします。 詳しくは、8-2 ページをごらんください。
	メニュー	トップメニューを表示します。 トップメニューには、任意の機能を割当てたショートカットキーを表示し、目的の機能へ素早くアクセスできます。 詳しくは、2-7 ページをごらんください。
5	リセット	操作パネルで入力／変更した内容を初期状態に戻します。
6	ストップ	コピー、スキャン、印刷中の動作を一時停止します。 - 再開するときはスタートを押します。 - 削除するときは、停止中の画面で削除するジョブを選び、[削除] をタップします。
7	スタート	コピー、スキャン、ファクス、印刷などの動作を開始します。 - 青色に点灯：本機が動作を開始できる状態 - オレンジ色に点灯：本機が動作を開始できない状態 オレンジ色に点灯しているときは、タッチパネルに警告やメッセージが表示されていないか確認してください。
8	1 ～ 4	登録キーに割当てられた機能に、タッチパネルの表示を切替えます。 - 初期設定では、1：[拡大表示]、2：[ガイド]、3：[10 キー呼び出し]、4：[プレビュー] が割当てられています。 - お使いの環境に合わせて、登録キーに割当てる機能を変更できます。詳しくは、6-2 ページをごらんください。
9	電源キー	本機を節電状態に切替えるときに操作します。 - 本機の運転中に電源キーを短く押すと、パワーセーブ状態に移行し、タッチパネルの表示を消して消費電力を抑えます。タッチパネルを操作したり、データやファクスを受信したりすると、通常モードに復帰します。 - 本機の運転中に電源キーを長く押すと、副電源 OFF 状態に移行し、消費電力を抑えます。副電源 OFF 状態のとき、データやファクスは受信できますが、原稿の読み込みや印刷はできません。副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファクスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 - 待機時の消費電力を抑えて使用したい場合、電源キーを副電源 OFF キーとして使うこともできます。電源キーの使い方について詳しくは、7-2 ページをごらんください。
10	警告表示ランプ	本機の状態をランプの色と点滅、点灯で表示します。 - オレンジ色に点滅：警告中 - オレンジ色に点灯：機械停止中

2

タッチパネルの操作と主な画面 の紹介

2 タッチパネルの操作と主な画面の紹介

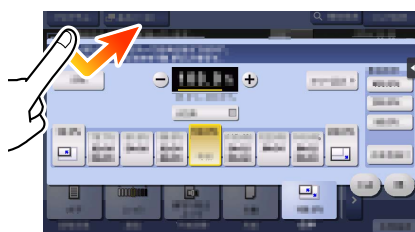
2.1 タッチパネルについて

2.1.1 タッチパネルの操作

タップ

画面を指で軽くタッチし、すぐに離します。

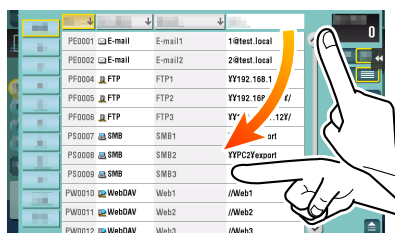
メニューを選んだり、確定したりします。



フリック

画面上で指を滑らせ、軽くはらいます。

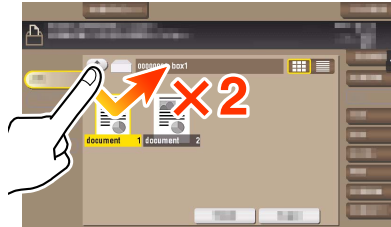
宛先、ジョブリストのスクロール、トップメニュー画面やプレビュー画面のページ送りなどに使います。



ダブルタップ

画面を指で軽く 2 回連続でタッチします。

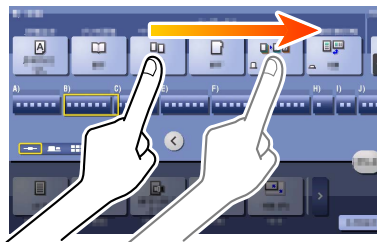
詳細情報の呼出しや、サムネイル画像、プレビュー画像の拡大、ボックスを開くときに使います。



ドラッグ

指でスクロールバーやドキュメントを押した状態で、指をずらしします。

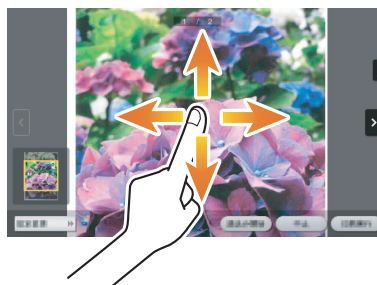
スクロールバーやドキュメントなどを移動させたいときに使います。



パン

指で画面を押した状態で、指を前後左右に平行移動させます。

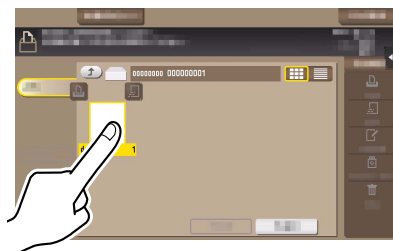
1 画面で表示できずに部分表示された場合、目的の表示位置に移動させたいときに使います。



ロングタップ

ドキュメントを指で長押しします。

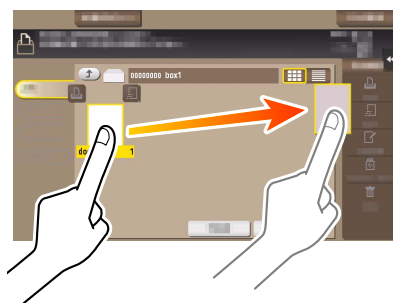
ドキュメントに関するアイコンを表示するときに使います。



ドラッグ&ドロップ

ドキュメントを選択した状態で、目的の場所へ指をずらし、指をはなします。

ドキュメントを目的の場所へ移動させるときに使います。



ピンチイン／ピンチアウト

2本指で画面を押した状態で、指を開いたり閉じたりします。

プレビュー画像を拡大／縮小させたいときに使います。

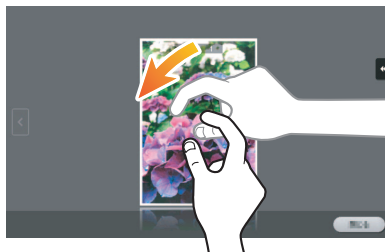


④ 関連設定

- 表示ズーム機能が有効の場合、ピンチアウト操作によりパネル表示の全体を 200%まで拡大できます (初期値: [しない])。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

ローテーション

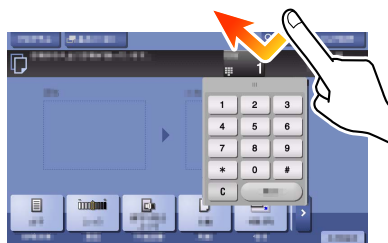
2本指で画面を押した状態で、指を回転します。
プレビュー画像を回転させたいときに使います。



2.1.2 テンキーの操作

テンキーの表示

画面上の数字または入力エリアをタップするとテンキーを表示します。
数字を入力するときに使います。



テンキーの移動

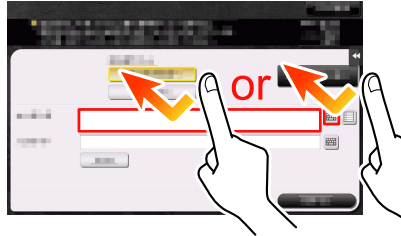
テンキー の上部を押した状態で、指をずらします。
テンキーの表示位置を移動させるときに使います。



2.1.3 入力／選択画面の切換え操作

入力エリアまたはアイコンをタップして、入力／選択画面に切換えます。

文字入力や登録内容の選択画面に切換えるときに使います。



参照

アイコンの種類について詳しくは、2-18 ページをごらんください。

2.1.4 タッチパネル使用上のご注意

タッチパネルを操作するときは、次の点にご注意ください。

- タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷がついて破損の原因となります。
- タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

2.2 トップメニューについて

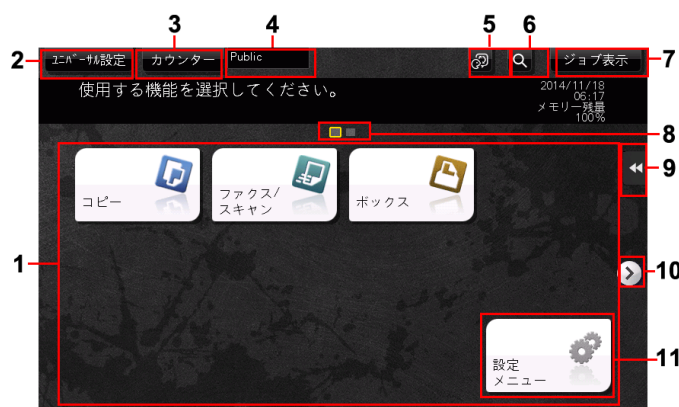
トップメニューを表示する

操作パネルのメニューを押すと、トップメニューを表示します。トップメニューに表示するキーは、お使いの環境に合わせて自由にカスタマイズできます。

トップメニューは3画面に拡張できます。トップメニューには1画面に12個ずつ、最大で25個のショートカットキーを配置できます。[設定メニュー]は、1ページ目の右下に固定で表示されます。

よく使う機能のショートカットキーを、トップメニューに配置しておけば、目的の機能に素早くアクセスできるため便利です。

さらに、トップメニューの背景などを、好みに応じて変更できます。

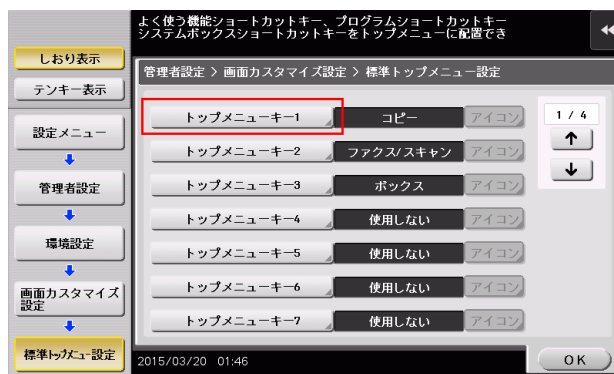


No.	名前	説明
1	トップメニューキー	任意の機能を割当てたショートカットキーを表示します。お使いの環境に合わせて、自由にカスタマイズできます。初期設定では、[コピー]、[ファクス/スキャン]、[ボックス]、[設定メニュー]が配置されています（[設定メニュー]は固定です）。 トップメニューに[簡単セキュリティ]へのショートカットキーを配置できます。[簡単セキュリティ]について詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
2	[ユニバーサル設定]	タッチパネルのタッチ位置の補正や、キー操作音の変更など、操作パネルの使用環境を設定できます。 詳しくは、「ユーザーズガイド [アクセシビリティ] / [ユニバーサル機能を使う]」をごらんください。
3	[カウンター]	本機で印刷したページ数の累計を機能別に集計した情報を表示します。 詳しくは、「ユーザーズガイド [メンテナンス] / [カウンター/Eco 指標を確認する]」をごらんください。
4	ユーザー名/部門名	ユーザー認証/部門管理を導入している場合に、現在ログイン中のユーザー名または部門名を表示します。ユーザー認証と部門管理を併用している場合は、ユーザー名を表示します。
5	[Language]	パネルの表示言語を一時的に切替えます。 [言語一時変更]が[使用する]に設定されている場合に 표시됩니다。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
6	[機能検索]	コピー機能、ファクス/スキャン機能の設定項目を検索し、検索結果から対象の機能の画面へ移動することができます。
7	[ジョブ表示]	実行中のジョブや待機中のジョブを表示します。ジョブの履歴を確認したり、通信レポートを印刷したりすることもできます。ジョブの実行中は、実行中のジョブの動作状況を表示します。 詳しくは、2-20 ページをごらんください。

No.	名前	説明
8	ページインジケータ	トップメニューキーが複数ページに割当てられている場合に、現在何ページ目を表示しているかを確認できます。
9	スライドメニュー	メニュー表示用のタブキーをタップすることで、画面の端からスライドして表示されるメニューです。 ・ 詳しくは、2-16 ページをごらんください。
10	ページ切換えキー	トップメニューキーが複数ページに割当てられている場合に、ページを切換えます。 画面をドラッグまたはフリックすることでも、ページを切換えることができます。
11	〔設定メニュー〕	本機の設定をしたり、本機の使用状況を確認したりできます。 ・ 詳しくは、2-22 ページをごらんください。

トップメニューに配置する機能を選ぶ（管理者向け）

- 1 〔設定メニュー〕 - 〔管理者設定〕 - 〔環境設定〕 - 〔画面カスタマイズ設定〕 - 〔標準トップメニュー設定〕 をタップします。
- 2 ショートカットキーを配置するトップメニューキーの番号を選びます。
→ 〔トップメニューキー 1〕～〔トップメニューキー 11〕までが、トップメニューの 1 画面目に配置されます。特によく使う機能を配置すると便利です。



- 3 [使用する] をタップし、ショートカットキーに割り当てる機能を選び、[OK] をタップします。
- [コピープログラム] または [ファクス / スキャンプログラム] をタップしてプログラムを選ぶと、本機に登録されているプログラムをトップメニューに配置できます。
 - プログラムを選んだ場合は、手順 2 の画面で [アイコン] をタップすると、トップメニューに表示するアイコンを選べます。
- 選んだ機能のショートカットキーがトップメニューに配置されます。

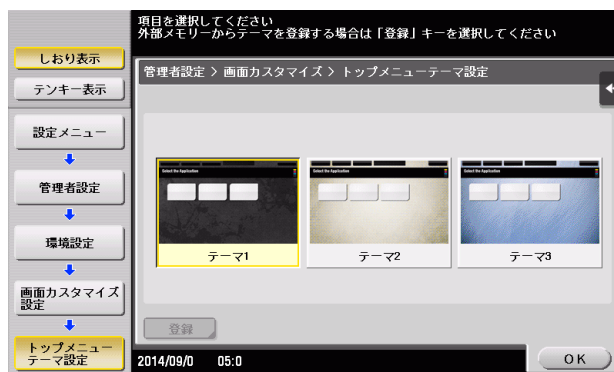


[Eco 設定]、[Eco コピー]、[Eco 指標] のいずれかをトップメニューに配置すると、トップメニューの背景が Eco 機能の背景に変わります。

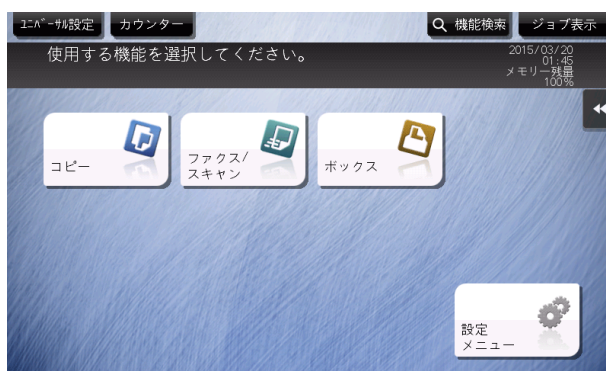


トップメニューのテーマを変更する（管理者向け）

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [トップメニューテーマ設定] をタップします。
- 2 お好みのテーマを選び、[OK] をタップします。
 - 画像を本機に登録して、トップメニューのテーマとして使用できます。画像は 3 ファイルまで登録できます。テーマを登録する場合は、登録したいテーマが保存された USB メモリーを本機に接続し、[登録] をタップします。



トップメニューのテーマが変わります。



参考

トップメニューのテーマとして登録できる画像の仕様は、以下のとおりです。

- ファイル形式：PNG
- ファイルサイズ：1.5 MB 以下
- 表示サイズ：横幅 1024 ピクセル以下、縦幅 768 ピクセル以下（元画像の縦横比を保持した状態で、横幅 800 ピクセル、縦幅 480 ピクセルに縮小して登録されます。）

2.3 トップ画面について

2.3.1 画面の構成

コピーモードのトップ画面と応用機能の画面を例に、画面の構成を説明します。



No.	名前	説明
1	メッセージ表示エリア	本機の状態や操作手順など、メッセージを表示します。
2	拡大／縮小キー	メッセージがメッセージ表示エリアに収まらない場合に、メッセージ表示エリアを拡大／縮小します。
3	アイコン表示エリア	ジョブの状態、警告、USBメモリーの接続状態などを示すアイコンを表示します。アイコンをタップすると、詳細な内容を確認できます。 ・ 本機の状態を示すアイコンについて詳しくは、2-18 ページをごらんください。
4	日時／メモリー残量／トナー残量表示エリア	現在の日時、メモリー残量、トナー残量を表示します。
5	[設定確認]	各モードで現在設定されている機能を確認できます。
6	[応用設定]	応用機能を選択する画面を表示します。
7	機能表示エリア	読み込み設定や原稿設定など、各モードのオプション設定をします。 ・ 機能表示エリアに表示する機能キーをカスタマイズできます。詳しくは、2-12 ページをごらんください。
8	表示切換えキー	応用機能の画面表示の方法を、タブ表示、マップスクローラー表示、グリッド表示のいずれかに切換えます。 ・ 応用機能の画面表示の初期値を変更することができます。詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



参考

- タッチパネルにテンキーを常時表示する設定にした場合、コピーモードでは原稿イメージ画像は表示されず、出カイメージ画像だけが表示されます。

2.3.2 各モードに表示する機能キーをカスタマイズする（管理者向け）

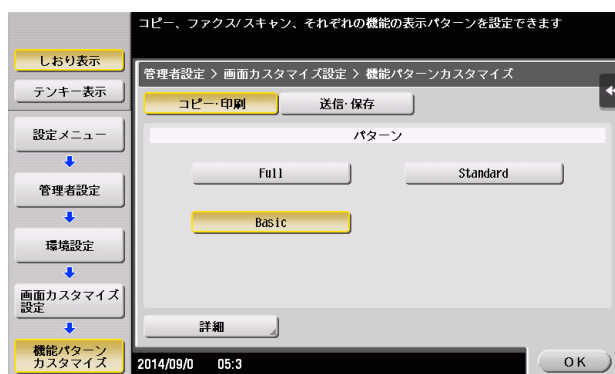
機能キーの表示パターンを選ぶ

本機には、各モードの機能キーの表示／非表示が登録された3種類の表示パターンが用意されています。

表示パターンには、すべての機能キーを表示する[Full]、一般的によく使われる機能キーを表示する[Standard]、[Standard] からさらに基本的な機能キーだけを表示する[Basic]があります。

初期状態では[Full]に設定されています。機能キーの使用状況に応じて、あらかじめ用意された3種類の表示パターンのいずれかに変更できます。

- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [画面カスタマイズ設定] - [機能パターンカスタマイズ] で、[コピー・印刷] または [送信・保存] をタップします。
 - [コピー・印刷] を選ぶと、コピーモードと、ボックスモードの印刷設定画面に表示する機能キーの表示パターンを変更できます。
 - [送信・保存] を選ぶと、ファクス/スキャンモードと、ボックスモードの送信設定画面、保存設定画面に表示する機能キーの表示パターンを変更できます。
- 2 機能キーの表示パターンを選び、[OK] をタップします。
 - 各パターンで表示される機能は[詳細]をタップして確認してください。



機能キーの表示パターンが変わります。



参考

- お使いの環境に合わせて、機能キーの表示パターンを追加できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。



関連設定（管理者向け）

- ユーザー認証または部門管理を導入している場合は、ユーザーや部門ごとに機能キーの表示パターンの変更を許可するかどうかを選べます（初期値：[許可しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
- ユーザーや部門ごとに機能キーの表示パターンを変更する場合は、ユーザー／部門情報を編集して、個別に機能キーの表示パターンを選びます。
ユーザーごとに設定する方法について詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
部門ごとに設定する方法について詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

トップ画面に表示する機能キーを選ぶ

各モードのトップ画面に表示する機能キーの種類や配置を変更できます。

機能キーの使用状況に応じて、よく使う機能キーはトップ画面に配置したり、使わない機能キーは非表示にしたりできます。

- ✓ トップ画面に表示する機能キーを変更するには、あらかじめ機能キーの変更を許可する必要があります（初期値：[禁止]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

1

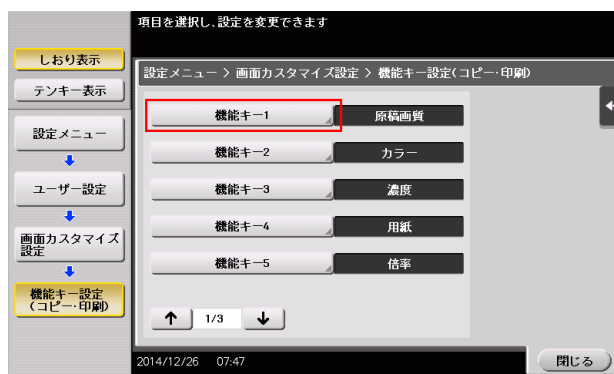
[設定メニュー] - [ユーザー設定] - [画面カスタマイズ設定] で、[機能キー設定 (コピー・印刷)]、[機能キー設定 (送信・保存)]、または [機能キー設定 (ファクス送信)] をタップします。

- [機能キー設定 (コピー・印刷)] を選ぶと、コピーモードのトップ画面と、ボックスモードの印刷設定画面に表示する機能キーを変更できます。
- [機能キー設定 (送信・保存)] を選ぶと、ファクス/スキャンモードのトップ画面と、ボックスモードの送信設定画面、保存設定画面に表示する機能キーを変更できます。
- [機能キー設定 (ファクス送信)] を選ぶと、ファクスモードのトップ画面に表示する機能キーを変更できます。

2

設定を変更したい機能キーの番号を選びます。

- [機能キー設定 (コピー・印刷)] を選んだ場合は、[機能キー 1] ～ [機能キー 7] までが [基本機能 1]、[機能キー 8] ～ [機能キー 14] までが [基本機能 2] に配置されます。よく使う機能は、[機能キー 1] ～ [機能キー 7] に割り当てると便利です。



- 3 「使用する」をタップし、機能キーに割り当てる機能を選び、「OK」をタップします。
トップ画面に表示される機能キーが変わります。



参考

- 「機能キー設定 (コピー・印刷)」を選んで機能キーの設定を変更した場合、「機能キー 1」～「機能キー 14」に割り当てない機能は「応用設定」に表示されます。
- 「機能キー設定 (送信・保存)」を選んで機能キーの設定を変更した場合、「機能キー 1」～「機能キー 7」に割り当てない機能は「応用設定」に表示されます。

2.3.3 現在の設定内容を確認する

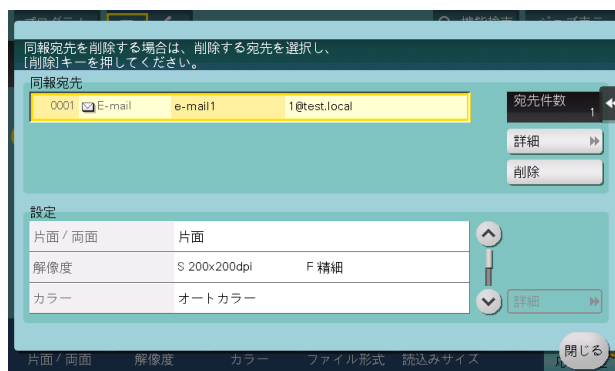
コピーモードの設定確認

コピーモードのトップ画面で「設定確認」をタップすると、現在の設定内容を確認できます。



ファクス／スキャンモードの設定確認

ファクス／スキャンモードのトップ画面で「設定確認」をタップすると、指定した宛先や、現在の設定内容を確認できます。

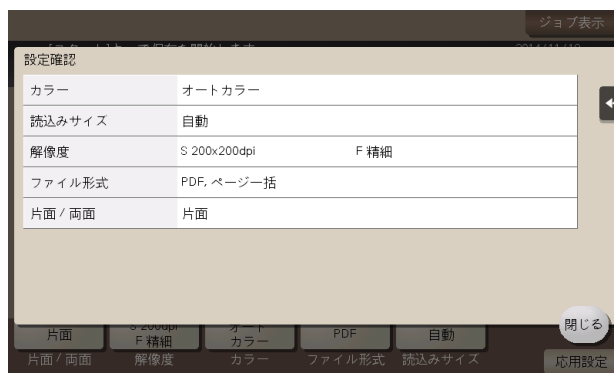


項目	説明
[同報宛先]	指定した宛先を確認できます。 - 宛先を選び「詳細」をタップすると、宛先の詳細情報を表示します。 - 宛先を選び「削除」をタップすると、宛先の指定を解除します。
[設定]	現在の設定内容を確認できます。 E-mail の件名、From、本文、文書名を選んでから「詳細」をタップすると、設定内容を表示します。

ボックスモードの設定確認

ボックスモードの各画面で「設定確認」をタップすると、現在の設定内容を確認できます。

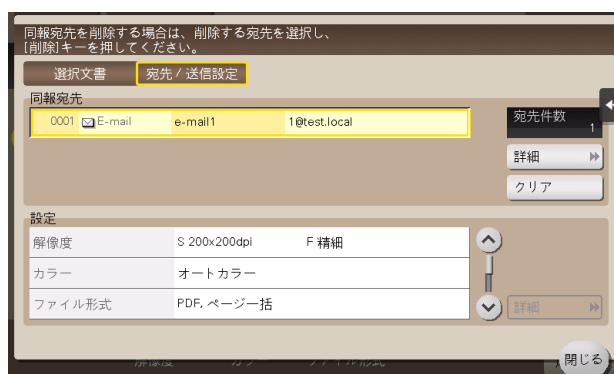
ボックスに原稿を保存する場合は、保存の設定内容を確認できます。



ボックスからファイルを印刷する場合は、印刷の設定内容を確認できます。また、選んだファイルの一覧を確認できます。



ボックスからファイルを送信する場合は、指定した宛先や、送信の設定内容を確認できます。また、選んだファイルの一覧を確認できます。

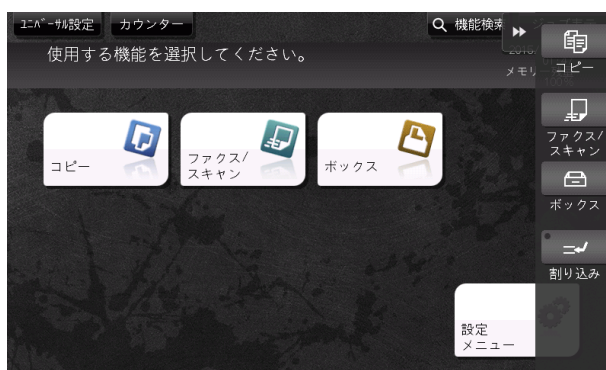


2.4 スライドメニューについて

スライドメニューとは

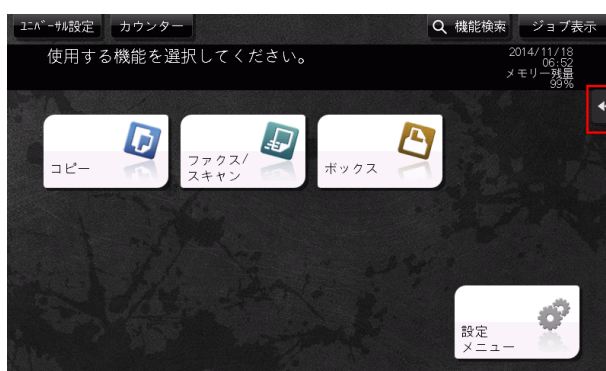
スライドメニューは、メニュー表示用のタブキーをタップすることで、画面の端からスライドして表示されるメニューです。普段は表示されていないため、操作の邪魔になりません。

スライドメニューには、コピーやスキャンなどの画面へ切換えるための機能キーが配置されています。スライドメニューに表示する機能キーは、お使いの環境に合わせて変更できます。



スライドメニューを開く／閉じる

スライドメニューは、スライドメニューのタブキーをタップすることで開いたり閉じたりできます。



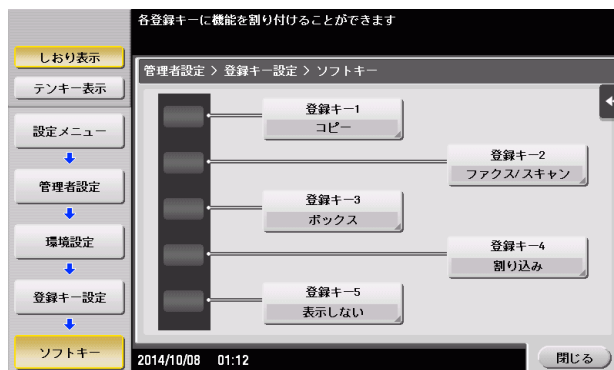
参考

- スライドメニューのタブキーは、ドラッグ操作によって表示位置を上下自由に変更できます。
- スライドメニューを表示しているときにメニュー表示エリア外をタップすると、スライドメニューを閉じることができます。
- スライドメニューを開閉する機能を、**操作パネルのハードキー**に割り当てることができます。詳しくは、6-2 ページをごらんください。

スライドメニューに割り当てる機能を変更する

お使いの環境に合わせて、スライドメニューに割り当てる機能を選べます。よく使う機能を割り当てておくとう便利です。

- 1 「[設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [登録キー設定] - [ソフトキー]」をタップし、機能の割り当てを変更したいキーをタップします。



- 2 割り当てたい機能を選び、[OK] をタップします。

設定	説明
[コピー]	コピーモードのトップ画面を表示します。
[ファクス/スキャン]	ファクス/スキャンモードのトップ画面を表示します。
[ボックス]	ボックスモードのトップ画面を表示します。
[10 キー呼び出し]	部数や倍率など、数値を入力する画面で、タッチパネルにテンキーを表示します。
[設定メニュー]	[設定メニュー] 画面を表示します。
[拡大表示]	タッチパネルの表示を拡大表示に切換えます。
[ガイド]	ヘルプメニューを表示します。
[割り込み]	急な用件でコピーしたいときに、本機で現在実行中の動作を中断します。
[プレビュー]	現在設定している内容の仕上りイメージを、タッチパネルに表示します。



関連設定（管理者向け）

- スライドメニューを使用するかしないかを設定できます。また、スライドメニューにテンキーを表示したり、スライドメニューの背景色を変更したりできます。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

2.5 アイコンの種類

本機の状態を示すアイコン

アイコン表示エリアには、本機の状態を示すアイコンが表示されることがあります。表示されるアイコンの種類は、次のとおりです。

アイコン	説明
	USB メモリーが接続されていることを示します。 このアイコンをタップすると、USB メモリーを使ってできること（印刷、保存、読み込み）を選ぶ画面を表示します。
	規格外の USB メモリーが差込まれ、USB 接続が無効であることを示します。
	消耗品の交換や装置の点検に関するメッセージがあることを示します。アイコンをタップしてメッセージを確認し、交換や点検を行ってください。
	印刷機能、スキャナー機能に異常が発生していることを示します。 このアイコンをタップすると、警告コードを確認できる画面に切り替わります。
	ファクスのリダイヤル待ちを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	メールサーバー (POP) への接続エラーを示します。
	セキュリティ強化設定が設定されていることを示します。

入力／選択画面に切替えるアイコン

本機の操作中に文字の入力や登録内容の選択が必要な場合に、次のアイコンが表示されることがあります。アイコンをタップして、文字入力や登録内容の選択画面に切替えます。

アイコン	説明
	文字入力（キーボード）画面を表示します。 本書では「キーボードアイコン」と呼びます。
	プログラム宛先を直接入力する画面を表示します。 本書では「入力アイコン」と呼びます。
	登録されている内容をリストで表示します。 本書では「リストアイコン」と呼びます。
	詳細を設定する画面を表示します。 本書では「詳細アイコン」と呼びます。



参照

文字の入力や登録内容の選択をするときは、入力エリアをタップすることで、アイコンをタップしなくても、入力／選択画面に切替えることができます。詳しくは、2-6 ページをごらんください。

実行中ジョブの種類を示すアイコン

ジョブの実行中は、トップメニューや各モードのトップ画面のヘッダーエリアに、実行中のジョブのアイコンと動作状況を表示します。表示されるアイコンの種類は、次のとおりです。

アイコン	説明
	実行中のジョブが、E-mail 送受信ジョブであることを示します。
	実行中のジョブが、FTP 送信ジョブであることを示します。
	実行中のジョブが、SMB 送信ジョブであることを示します。
	実行中のジョブが、WebDAV 送信ジョブであることを示します。
	実行中のジョブが、TWAIN スキャンジョブであることを示します。
	実行中のジョブが、ファクスジョブ、インターネットファクスジョブ、IP アドレスファクスジョブのいずれかであることを示します。
	実行中のジョブが、コピージョブまたはプリントジョブであることを示します。
	実行中のジョブが、保存ジョブであることを示します。

2.6 実行中ジョブ／ジョブ履歴を確認する

ジョブ画面を表示する

ジョブとは、印刷、送信、受信、保存などの個々の動作単位です。

トップメニューや各モードのトップ画面で「ジョブ表示」をタップすると、実行中ジョブ／ジョブ履歴の確認や、送受信結果を記載したレポートの印刷ができます。



参考

- ジョブの実行中は、トップメニューや各モードのトップ画面のヘッダーエリアに、実行中のジョブのアイコンと動作状況を表示します。アイコンの種類について詳しくは、2-19 ページをごらんください。

実行中のジョブを確認する

「実行中」をタップすると、本機で実行中のジョブや待機中のジョブを表示します。必要に応じて、印刷ジョブの順番を入替えて実行したり、待機中のジョブを削除したりなど、ジョブの操作ができます。

項目	説明
「通信種類／回線」	一覧に表示するジョブを、次の条件で絞り込みます。 ・ 「全て」：送信ジョブ、受信ジョブ、タイマー通信ジョブにおいて、スキャン、ファクス、使用回線に関わらず、すべてのジョブを表示します。 ・ 「スキャン」：送信ジョブにおいて、スキャンジョブだけを表示します。 ・ 「ファクス」：送信ジョブ、タイマー通信ジョブにおいて、使用回線に関わらず、すべてのファクスジョブを表示します。
「ジョブ選択」	一覧に表示するジョブを、印刷や送信などのジョブの種類で絞り込みます。
「削除」	一覧から選んだジョブを削除します。
「優先出力」 (印刷ジョブ)	印刷待ちのジョブが複数あるときに、印刷の優先順位を変更できます。印刷待ちのジョブの一覧で、先に印刷したいジョブを選んでから「実行」をタップします。 ・ 中断された印刷ジョブは、優先したジョブの印刷が完了すると自動的に印刷を再開します。 ・ 印刷中のジョブに、中断できない紙折りやステープルなどが設定されている場合は、印刷中のジョブの印刷完了後に印刷します。
「蓄積解除」 (印刷ジョブ)	プリンタードライバーを使って、確認印刷機能を設定して印刷したジョブの一覧を表示します。 印刷するときは、印刷したいジョブを選んでから「実行」をタップします。 必要に応じて、印刷設定の変更やジョブの削除ができます。 ・ 確認印刷機能について詳しくは、「ユーザーズガイド [プリント機能] / [Windows 環境で印刷する]」をごらんください。
「リダイアル」	一覧から選んだリダイアル待ちのファクスを手動で送信します。 リダイアル待ちのファクスは、オートリダイアル機能によって、一定時間経過後に自動的に送信されますが、自動的に送信されるのを待たずに、手動で送信を開始できます。
「設定内容」	一覧から選んだジョブの設定内容を確認します。

項目	説明
〔転送〕	メモリー代行受信機能によって受信したファクスを他の宛先へ転送します。転送先を、登録宛先または直接入力で指定してから〔実行〕をタップします。 ・メモリー代行受信機能について詳しくは、「ユーザーズガイド〔ファクス機能〕／〔こんな受信のしかたがあります〕」をごらんください。
〔詳細〕	一覧から選んだジョブの詳細情報を確認できます。
〔警告表示〕	エラーが発生しているジョブを選んだ場合に、そのエラーに対応する警告画面を表示します。



関連設定（管理者向け）

- ・〔ジョブ表示〕画面に、宛先やファイル名などの個人情報を非表示にするかどうかを選べます（初期値：〔しない〕）。詳しくは、「ユーザーズガイド〔機能／設定キーの説明〕／〔設定メニュー〕」をごらんください。
- ・他のユーザーのジョブの削除を許可するかどうかを選べます（初期値：〔禁止〕）。詳しくは、「ユーザーズガイド〔機能／設定キーの説明〕／〔設定メニュー〕」をごらんください。
- ・〔優先出力〕からの印刷ジョブの優先順位の変更を許可するかどうかを選べます（初期値：〔許可〕）。詳しくは、「ユーザーズガイド〔機能／設定キーの説明〕／〔設定メニュー〕」をごらんください。

ジョブ履歴を確認する

〔履歴〕をタップすると、これまで本機で処理したジョブを表示します。エラーなどで終了できなかったジョブも確認できます。

項目	説明
〔通信種類／回線〕	一覧に表示するジョブを、次の条件で絞り込みます。 ・〔全て〕：送信ジョブ、受信ジョブ、タイマー通信ジョブにおいて、スキャン、ファクス、使用回線に関わらず、すべてのジョブを表示します。 ・〔スキャン〕：送信ジョブにおいて、スキャンジョブだけを表示します。 ・〔ファクス〕：送信ジョブ、タイマー通信ジョブにおいて、使用回線に関わらず、すべてのファクスジョブを表示します。
〔ジョブ選択〕	一覧に表示するジョブを、印刷や送信などのジョブの種類で絞り込みます。〔絞り込み条件〕での絞り込みを併用するとさらに絞り込みます。
〔絞り込み条件〕	一覧に表示するジョブを、条件を選んで絞り込みます。 ・〔全ジョブ〕：すべてのジョブを表示します。 ・〔終了ジョブ〕：正常に終了したジョブを表示します。 ・〔消去ジョブ〕：終了前に消去したジョブを表示します。
〔詳細〕	一覧から選んだジョブの詳細情報を確認できます。



参考

- ・本機でユーザー認証を導入している場合、認証方式を変更し、すべての管理データをクリアすると、ジョブの履歴が削除されます。



関連設定（管理者向け）

- ・〔ジョブ表示〕画面に、宛先やファイル名などの個人情報を非表示にするかどうかを選べます（初期値：〔しない〕）。詳しくは、「ユーザーズガイド〔機能／設定キーの説明〕／〔設定メニュー〕」をごらんください。
- ・必要に応じて、ジョブの履歴を初期化できます。詳しくは、「ユーザーズガイド〔機能／設定キーの説明〕／〔設定メニュー〕」をごらんください。

通信レポートを印刷する

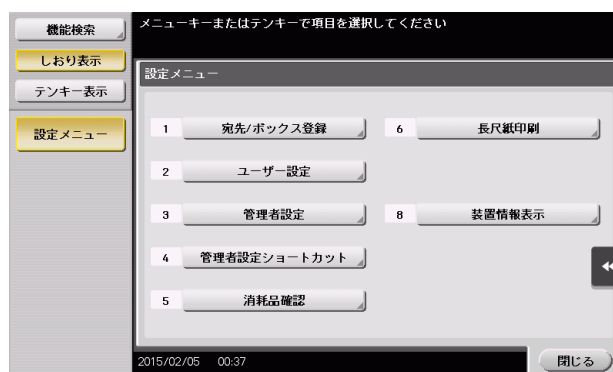
〔通信リスト〕をタップすると、スキャン送信、ファクス送信、ファクス受信、ファクス通信（送受信）の結果を記載したレポートを印刷できます。ファクスのレポートは、件数を指定できます。

印刷する場合は、〔レポート種類〕で、印刷したいレポートを選び、〔選択確定〕をタップしてからスタートを押します。

2.7 本機の各種設定をする

〔設定メニュー〕を表示する

トップメニューで〔設定メニュー〕をタップすると、本機の設定や使用状況の確認ができます。



設定	説明
〔宛先 / ボックス登録〕	宛先やボックスを登録します。
〔ユーザー設定〕	ユーザーが設定を変更できる項目です。 お使いの環境に合わせて、コピー、ファクス／スキャン、プリンター機能の初期値や画面表示を、使いやすいように変更できます。
〔管理者設定〕	管理者が設定できる項目です。設定するには、管理者パスワードの入力が必要です。 お使いの環境に合わせて、コピー、プリンター、ファクス、ボックス機能の初期動作、節電機能、ネットワーク機能を設定できます。また、認証機能やセキュリティ機能を設定することで、本機の使用状況の管理や、情報漏洩を抑止します。
〔管理者設定ショートカット〕	〔管理者設定〕の設定項目へのショートカットキーを16個まで登録できます。よく使う設定項目のキーを登録しておけば、設定項目へアクセスするまでの時間を短縮できます。 設定するには、管理者パスワードの入力が必要です。
〔消耗品確認〕	本機の消耗品の状態（消耗レベル）を確認します。必要に応じて、リストに印刷します。
〔長尺紙印刷〕	プリンター機能の長尺紙印刷を許可するかどうかを選びます。
〔装置情報表示〕	本機の機能バージョン、IPアドレス (IPv4/IPv6)、シリアルナンバー、連絡先（電話）、連絡先（ファクス）、バージョン情報を表示します。
〔リモートパネル操作〕	本機の 操作パネル の遠隔操作を開始します。 管理者によって、リモートパネルの使用環境が設定されている場合に表示されます。

左エリアには、次の項目が表示されます。

項目	説明
〔機能検索〕	〔ユーザー設定〕、〔管理者設定〕の設定キーを検索し、検索結果から対象の画面へ移動できます。
〔しおり表示〕	現在表示している設定画面の位置を確認できます。
〔テンキー表示〕	左エリアに テンキー を表示します。

管理者設定を表示するには

管理者設定を表示するには、管理者パスワードの入力が必要です。

1 [管理者設定] をタップします。

2 管理者パスワードを入力します。

→ 管理者パスワードについては、冊子のマニュアルをごらんください。

→ 管理者権限が付与されている登録ユーザーが管理者として本機にログインしている場合、管理者パスワードなしで管理者設定を表示できます。

[管理者設定] 画面が表示されます。設定できる項目は次のとおりです。

設定	説明
[環境設定]	本機の日時、節電機能、機能の動作や画面表示など、本機の操作環境を設定します。
[管理者 / 本体登録]	管理者と本機の情報を登録します。
[宛先 / ボックス登録]	宛先やボックスを登録します。また、宛先リストの印刷や、作成できるボックス数の上限を設定します。
[ユーザー認証 / 部門管理]	ユーザー認証と部門管理を設定します。 本機を使えるユーザーの制限や、使用状況の管理ができます。認証方式の設定、ユーザー情報や部門情報の登録を行います。
[ネットワーク設定]	TCP/IP の設定やスキャン送信機能の使用環境の設定など、本機のネットワーク機能を設定します。
[コピー設定]	コピーモードで使う各機能を設定します。
[プリンター設定]	本機とコンピューターとの通信のタイムアウト時間や、プリンタードライバとの通信に関する設定をします。
[ファクス設定]	ファクス機能やネットワークファクス機能に関する設定をします。
[システム連携]	本機と他のシステムとの連携に関する設定をします。
[セキュリティ設定]	パスワードの設定やデータ管理方法など、本機のセキュリティ機能を設定します。
[ライセンス管理設定]	拡張機能を利用するために必要となるリクエストコードの発行や、拡張機能の有効化を行います。
[認定機能管理設定]	外部機関による認証が必要な機能の有効化を行います。
[音声ガイド設定]	音声ガイド機能を有効にするかどうかを選びます。
[OpenAPI 認証管理設定]	OpenAPI 連携アプリケーションを、本機に登録できないように、禁止コードを設定します。
[遠隔診断設定]	遠隔診断システムを利用して、宛先情報などのユーザーデータの書換え（インポート／エクスポート）を遠隔で行うかどうかを設定します。
[Eco コピー設定]	Eco コピー機能のコピー設定の設定値を変更します。



参考

- Web Connection で管理者モードにログインしている場合、操作パネルから [管理者設定] を表示できません。

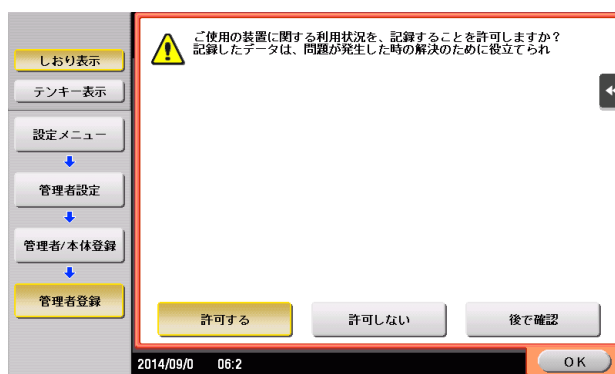
本機の利用状況の取得を許可する

弊社が装置の利用状況に関するログを取得することを許可するかどうかを選びます。

ログの取得を許可すると、すぐにログの取得を開始するため、あとで本機に問題が発生したときの原因分析や、製品の品質向上に役立ちます。

以下のいずれかの操作を行うと、ログの取得を許可するかどうかを確認する画面が表示されます。

- [設定メニュー] - [管理者設定] - [セキュリティ設定] - [管理者パスワード] で、管理者パスワードの変更を行った場合
- [設定メニュー] - [管理者設定] - [管理者 / 本体登録] - [管理者登録] で、登録情報を編集した場合
- コピー枚数が 100 枚を超えた状態で、管理者設定を表示した場合



設定	説明
[許可する]	ログの取得を開始します。1 度選ぶと、次回からは画面が表示されなくなります。
[許可しない]	ログを取得しません。1 度選ぶと、次回からは画面が表示されなくなります。
[後で確認]	次回条件を満たしたときに、再度画面を表示します。

3

タッチパネルにヘルプを表示する

3 タッチパネルにヘルプを表示する

ヘルプメニューを表示する

本機の操作中に機能の概要や操作方法を調べたいときは、ガイド（初期値：登録キー 2）を押すと、表示中の画面に対応する説明をタッチパネルに表示して確認できます。

たとえば、[仕上り]を表示しているときにガイドを押すと、仕上り機能の解説を確認できます。

ヘルプメニュー（ヘルプのメインメニュー）を表示すると、目的や機能から調べたいことを探せます。

ヘルプメニューは、以下のメニューで構成されています。機能の概要や操作方法を画面上に表示して確認できます。



項目	説明
[機能から探す]	画面に表示される機能名に合わせて分類されたガイドメニューを表示します。機能の概要を確認したいときに便利です。
[目的から探す]	本機の操作例と説明を機能ごとに分類して表示します。 また、[機能へのショートカット]をタップすると、表示した機能を設定する画面へジャンプします。 ・ [コピーする]を選んでから [特殊な原稿を読み込む]をタップすると、原稿セットの手順を確認できます。
[その他便利な機能]	本機をより便利に使うための機能や設定のガイドメニューを表示します。 また、[機能へのショートカット]をタップすると、表示した機能を設定する画面へジャンプします。
[各部の名称と動き]	操作パネルのキーや、装着されているオプションのキーを表示し、それぞれの動きを確認できます。
[サービス / 管理者情報]	本機の管理者の名前、内線番号、メールアドレスを表示します。
[消耗品交換 / 処理手順]	消耗品交換の手順やパンチくず処理の手順を確認できます。 [ガイダンススタート]をタップすると、ガイダンスが始まります。

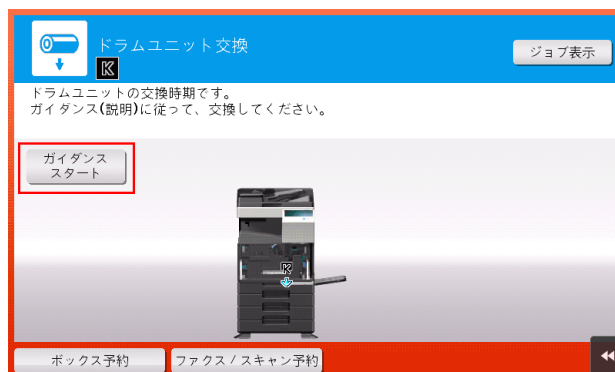
参考

- 左エリアのしおり表示で、現在表示しているガイド画面の位置を確認できます。
- ガイド画面で [閉じる] をタップすると、1つ上の階層に戻ります。[終了] をタップすると、ガイド機能を終了し、ガイド画面を表示する前の画面に戻ります。
- ガイド画面で [メニューへ] またはしおり表示の [ヘルプメニュー] をタップすると、ヘルプメニューを表示します。
- 以下の状態のときはガイド機能を使用できません。
スキャン中、確認コピー中、仕上りプレビュー時、拡大表示時、ユニバーサル設定中
- ガイド機能使用中は、以下の操作パネルのキーは無効となります。
スタート、C(クリア)、[割り込み]、プレビュー、ID、拡大表示

消耗品交換／紙づまりの処理手順を表示する

紙づまりや針づまりなどが発生した場合の処理手順や、トナーカートリッジなどの消耗品の交換手順をタッチパネルで確認しながら、処理や交換が行えます。

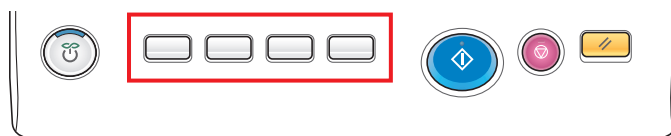
紙づまり／針づまりが発生したときや消耗品の交換が必要なときなど、警告画面が表示された場合は、その画面で「ガイダンススタート」をタップすると、ガイダンスが始まります。



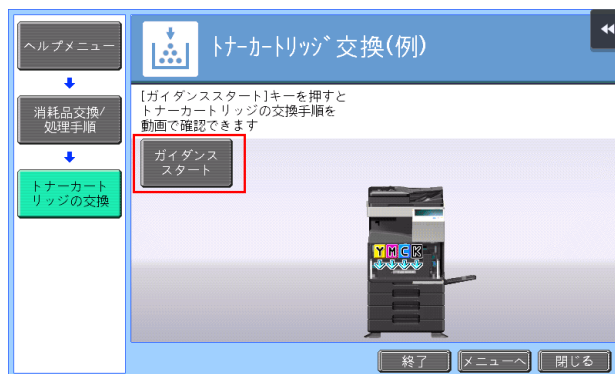
警告画面が表示されていないときに処理手順や交換手順を確認したい場合は、以下の手順でガイダンスを確認できます。

ここでは、トナーカートリッジの交換のしかたを例に説明します。

- 1 ガイド（初期値：登録キー 2）を押します。



- 2 「消耗品交換 / 処理手順」 - 「トナーカートリッジの交換」 - 「ガイダンススタート」 をタップします。



ガイダンスが始まります。



参考

- 「ヘルプメニュー」で、「目的から探す」 - 「消耗品の交換 / 処理手順を確認する」をタップしても、交換や処理の手順を確認できます。

4

タッチパネルにウィジェットを
配置する（[ウィジェット]

4 タッチパネルにウィジェットを配置する （[ウィジェット]）

ウィジェット配置機能について

トップメニューやコピーモードの画面の好きな位置に、テキスト、アイコン、GIF アニメなどをウィジェットとして配置できます。使用頻度の高い画面にウィジェットを配置することで、重要な情報を強調して表示できます。



ウィジェットは以下の画面に配置できます。

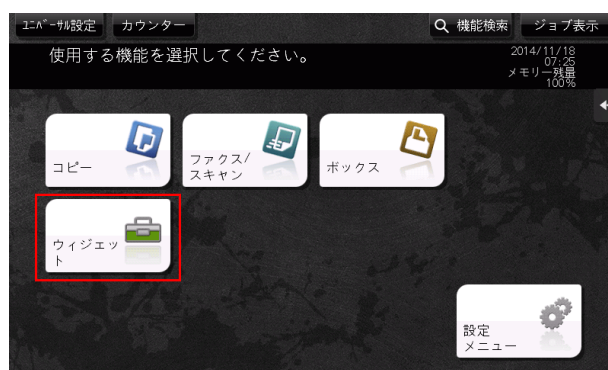
- トップメニュー
- コピーモードのトップ画面
- コピーモードの動作中画面

ウィジェットに使用するアイコンや GIF アニメの画像は、定型としてあらかじめ用意されているもののほか、ユーザーが登録することもできます。登録のしかたについて詳しくは、4-3 ページをごらんください。登録できるアイコンおよび GIF アニメの仕様は、以下のとおりです。

種類	仕様
アイコン	ファイル形式：PNG ファイルサイズ：1 MB 以下 表示サイズ：横幅 1024 ピクセル以下、縦幅 1024 ピクセル以下 登録数：最大 10 個
GIF アニメ	ファイル形式：GIF ファイルサイズ：512 KB 以下 横幅 512 ピクセル以下、縦幅 512 ピクセル以下 登録数：最大 3 個

お使いになるために必要な作業（管理者向け）

「ウィジェット設定」をトップメニューに配置します。設定方法について詳しくは、2-7 ページをごらんください。

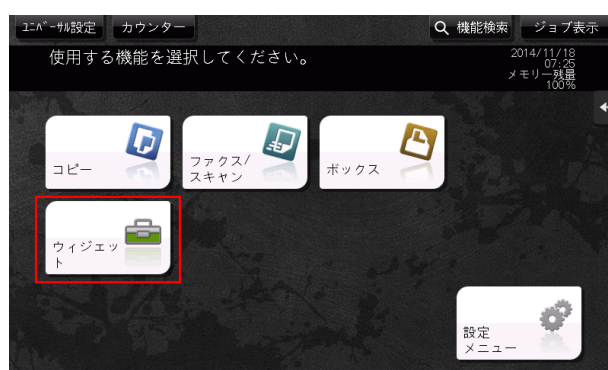


④ 関連設定（管理者向け）

- ウィジェット機能を有効にするかどうかを選べます（初期値：[有効]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

ウィジェットの配置／登録のしかた

- 1 トップメニューの「ウィジェット」をタップします。



- 2 ウィジェットを配置する画面を「トップ画面」、「コピー基本」、「コピー動作中」から選びます。



- 3 「新規追加」をタップします。

4 配置するウィジェットの種類を選びます。

- [アイコン] を選択した場合は、[定型アイコン] または [登録アイコン] から、配置したいアイコンを指定します。アイコンは 10 個まで指定できます。アイコンを登録する場合は、登録したいアイコンが保存された USB メモリーを本機に接続し、[登録] をタップします。
- [GIF アニメ] を選択した場合は、[定型 GIF アニメ] または [登録 GIF アニメ] から、配置したい GIF アニメを指定します。GIF アニメは 1 個だけ指定できます。GIF アニメを登録する場合は、登録したい GIF アニメが保存された USB メモリーを本機に接続し、[登録] をタップします。
- [テキスト] を選択した場合は、[テキストボックス] から配置したいテキストボックスを選び、テキストを編集します。必要に応じて、テキストの色や背景色を変更します。テキストボックスは 10 個まで配置できます。



5 ウィジェットの指定が完了したら、[閉じる] をタップします。

6 必要に応じて、ウィジェットのサイズや位置を変更します。

- [編集] を選択すると、選択したウィジェットの内容を編集できます。
- [サイズ] を選択すると、選択したウィジェットの大きさを変更できます。
- [移動] を選択すると、選択したウィジェットの位置を移動できます。[位置を固定] を選択すると、選択したウィジェットの位置を固定します。
- [削除] を選択すると、選択したウィジェットを削除できます。

7 [閉じる] をタップします。

以上でウィジェットの配置の完了です。

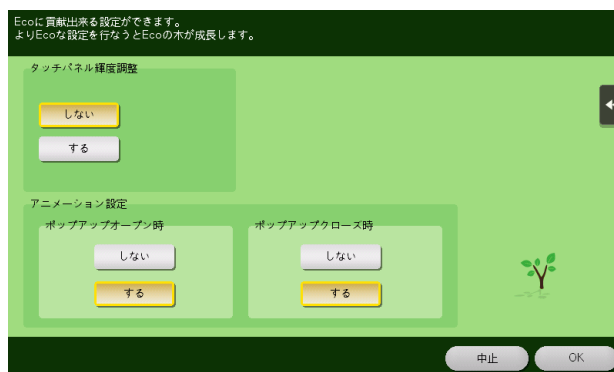
5

タッチパネルの消費電力を抑制
する（[Eco 設定]）

5 タッチパネルの消費電力を抑制する（[Eco 設定]）

「Eco 設定」について

「Eco 設定」には、タッチパネルの輝度調整やアニメーションの設定など、消費電力を抑制するための設定が集められています。Eco に貢献する設定へ変更すると、画面上の木が大きくなります。



お使いになるために必要な作業（管理者向け）

「Eco 設定」をトップメニューに配置します。設定方法について詳しくは、2-7 ページをごらんください。



Eco 設定の設定値を変更する

- 1 トップメニューの「Eco 設定」をタップします。



2 お使いの環境に合わせて以下の設定を変更し、[OK] をタップします。

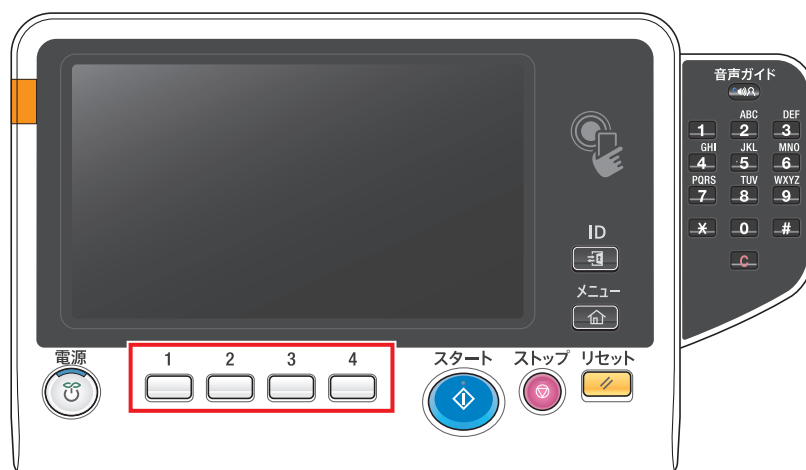
設定	説明
[タッチパネル輝度調整]	タッチパネルの明るさの度合い（輝度）を調整する場合は、[する] を選び、[低く] または [高く] をタップして輝度を調整します。
[アニメーション設定]	ポップアップウィンドウを開くときや閉じるときに、アニメーション表示するかどうかを選びます。[しない] を選んだ場合、ポップアップウィンドウを開いても操作確認音は鳴りません。 初期値は [する] です。

6

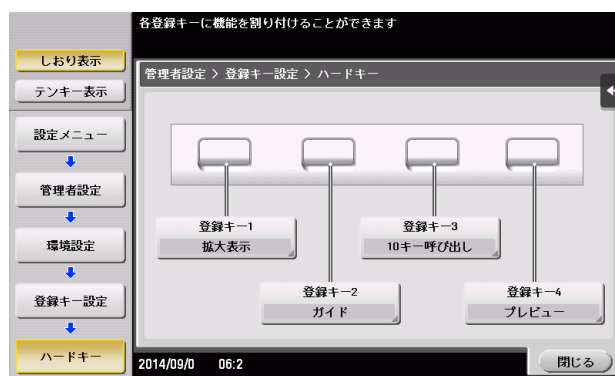
登録キーに割当てる機能を変更
する

6 登録キーに割当てる機能を変更する

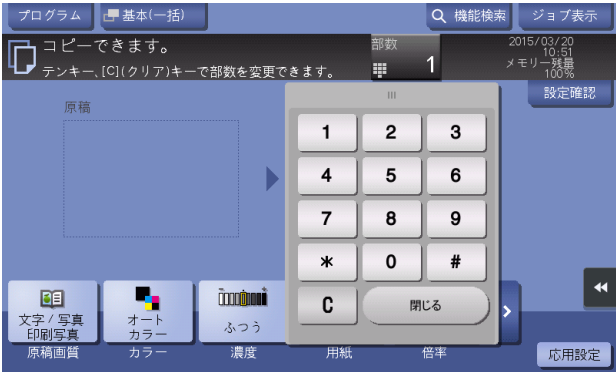
お使いの環境に合わせて、操作パネルの登録キーに割当てる機能を選べます。よく使う機能を割当てておくくと便利です。



- 1 [設定メニュー] - [管理者設定] - [環境設定] - [登録キー設定] - [ハードキー] をタップし、機能の割当てを変更したいキーをタップします。



2 割当てたい機能を選び、[OK] をタップします。

設定	説明
[コピー]	コピーモードのトップ画面を表示します。
[ファクス / スキャン]	ファクス / スキャンモードのトップ画面を表示します。
[ファクス]	ファクスモードのトップ画面を表示します。 この機能を使うには、オプションの FAX キット が必要です。
[ボックス]	ボックスモードのトップ画面を表示します。
[10 キー呼び出し]	部数や倍率など、数値を入力する画面で、タッチパネルにテンキーを表示します。
	
[設定メニュー]	[設定メニュー] 画面を表示します。
[拡大表示]	タッチパネルの表示を拡大表示に切替えます。
[ガイド]	ヘルプメニューを表示します。
[割り込み]	急な用件でコピーしたいときに、本機で現在実行中の動作を中断します。
[プレビュー]	現在設定している内容の仕上がりイメージを、タッチパネルに表示します。
[スライドメニュー]	スライドメニューを閉じたり開いたりします。

参考

- Web ブラウザー機能が有効の場合は、登録キーに [Web ブラウザー] を割当てることができます。
- 拡張機能の一つである音声ガイド機能が有効の場合は、登録キーに [音声ガイド] を割当てることができます。
- 拡張機能の一つであるコピキタスプリント機能が有効の場合は、登録キーに [コピキタスプリント] を割当てることができます。



本機の電源を管理する

7 本機の電源を管理する

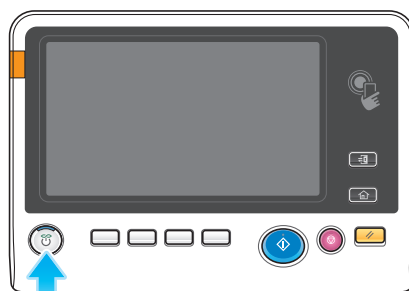
7.1 電源キーの使い方

購入時の状態でお使いの場合

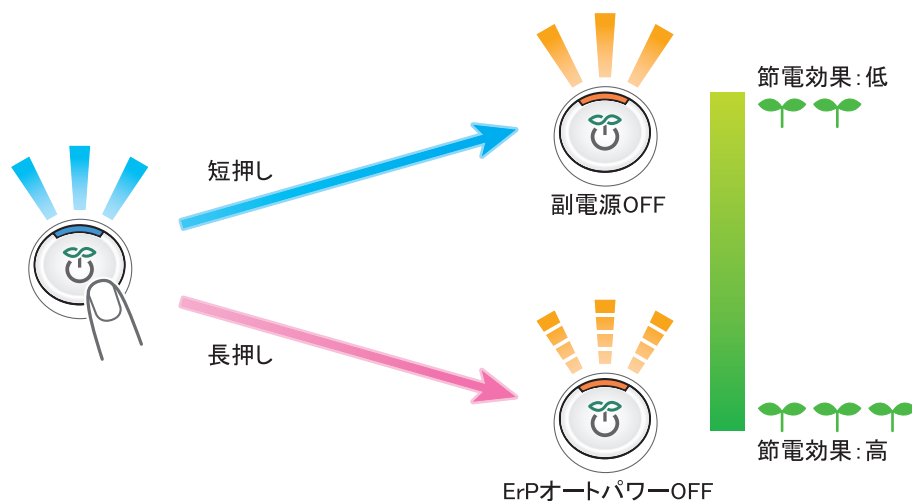
購入時の状態でお使いの場合の電源キーの使い方について詳しくは、「ユーザズガイド [はじめに] / [電源を ON/OFF する]」をごらんください。

副電源 OFF キーとしてお使いの場合

電源キーは、本機を節電状態に切換えるときに操作します。



電源キーを押したときの、本機の節電状態は次のとおりです。電源キーは押す長さによって、移行する節電状態が異なります。



電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
短押し	副電源 OFF	点灯： オレンジ色	消費電力を抑え、高い節電効果を得られます。 副電源 OFF 状態のとき、データやファクスは受信できませんが、原稿の読みみや印刷はできません。 副電源 OFF 状態のときに受信したデータやファクスは、通常モードに復帰すると印刷されます。 副電源 OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押してください。

電源キー	本機の状態	LED の状態	説明
長押し	ErP オート パワー OFF	点滅： オレンジ色	副電源 OFF 状態よりも高い節電効果を得られ、主電源を OFF にしたときに近い状態となります。 ErP オートパワー OFF 状態のとき、データやファクスの受信や、原稿の読み込み、印刷はできません。 ErP オートパワー OFF 状態から本機を通常モードに復帰させるには、もう一度電源キーを押します。

重要

ファクス機能をご利用の場合、ErP オートパワー OFF 状態にすると、ファクスを受信できなくなりますのでご注意ください。

7.2 電源キー／パワーセーブの動作を設定する（管理者向け）

電源キーの使い方や、パワーセーブモードの動作を設定します。

〔設定メニュー〕 - 〔管理者設定〕 - 〔環境設定〕 - 〔電源 / パワーセーブ設定〕で、次の設定をします。

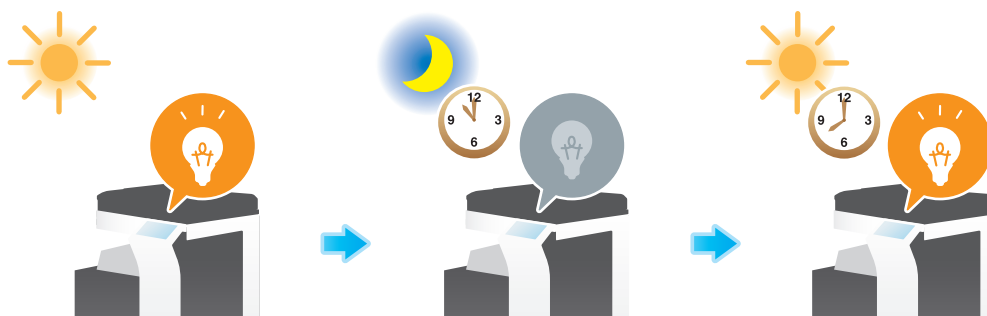
設定	説明
〔低電力設定〕	本機を操作しなくなってから、低電力モードに自動的に移行するまでの時間を変更します。 低電力モードでは、 タッチパネル の表示を消して、消費電力を抑えます。 初期値は〔15〕分です（設定範囲：〔2〕～〔60〕分）。
〔スリープ設定〕	本機を操作しなくなってから、スリープモードに自動的に移行するまでの時間を変更します。 スリープモードは、低電力モードよりも高い節電効果を得られますが、通常モードへ復帰するまでの時間は、低電力モードから復帰するよりも長くなります。 初期値は〔15〕分です（設定範囲：〔2〕～〔60〕分）。
〔電源キー設定〕	操作パネルの電源キーを、副電源 OFF キーとして使うか、パワーセーブキーとして使うかを選びます。 〔副電源 OFF〕：電源キーを短く押すと、副電源 OFF 状態に移行します。長く押すと、副電源 OFF 状態よりも節電効果の高い ErP オートパワー OFF 状態（主電源を OFF にしたときに近い状態）に移行します。 〔パワーセーブ〕：電源キーを短く押すと、パワーセーブモード（低電力またはスリープ）に移行します。長く押すと、副電源 OFF 状態に移行します。 初期値は〔パワーセーブ〕です。
〔パワーセーブモード節電切替〕	購入時の状態でお使いの場合に、操作パネルの電源キーを押したときに切替えるパワーセーブモードの種類を選びます。 〔低電力〕：低電力モードに切替えます。タッチパネルの表示を消して、消費電力を抑えます。 〔スリープ〕：スリープモードに切替えます。低電力モードよりも高い節電効果を得られますが、通常モードへ復帰するまでの時間は、低電力モードから復帰するよりも長くなります。 初期値は〔低電力〕です。
〔パワーセーブ移行〕	パワーセーブモード中に、本機がファクスやコンピューターからの印刷ジョブを受信したとき、印刷後にパワーセーブモードに切替えるタイミングを選びます。 〔通常〕：〔低電力設定〕および〔スリープ設定〕の設定時間で切替えます。 〔即時〕：印刷後にすぐにパワーセーブモードに切替えます。 初期値は〔即時〕です。
〔スリープ中の消費電力〕	スリープモード中の消費電力を抑制するかどうかを選びます。 〔強く抑制する〕：スリープモード中の消費電力をさらに抑制します。ただし、前ドアの開閉や原稿のセットでは、スリープモードから復帰できません。 〔抑制する〕：スリープモード中の消費電力を抑制します。 〔抑制しない〕：〔強く抑制する〕または〔抑制する〕に設定していて、ネットワーク接続時の応答が悪いなどのトラブルがあった場合に選びます。 初期値は〔強く抑制する〕です。
〔ファクス / スキャン時省電力〕	スリープモードまたは副電源 OFF 状態から、コピーモード以外のモードに復帰するときに、省電力を優先するかどうかを選びます。 ファクス／スキャンのように印刷を行わないモードに復帰するときは、本体内部の定着ユニットの温度調節を行わないことで、消費電力を抑えます。 〔管理者設定〕 - 〔環境設定〕 - 〔リセット設定〕 - 〔システムオートリセット〕の〔優先機能〕で〔コピー〕以外を選んだ場合に設定できます。 〔省電力優先〕：通常モードに復帰するときに、定着ユニットの温度を調節しません。 〔標準〕：通常モードに復帰するときに、定着ユニットの温度を調節します。 初期値は〔標準〕です。

7.3 決まった時間に節電モードに切替える（管理者向け）

ウィークリータイマーを使う

ウィークリータイマーは、あらかじめ指定した時刻に、通常モードと節電モード（スリープまたは ErP オートパワー OFF）を自動で切替える機能です。本機では、通常モードと節電モードを切替えるスケジュールを、オフィスの使用状況に合わせて自動設定する学習機能を利用することもできます。

ウィークリータイマーを導入することで、昼休みや夜間、休日など、オフィスの使用状況に合わせて効率的に節電ができます。



参照

ウィークリータイマーの設定方法について詳しくは、「ユーザズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

ウィークリータイマーの作動中に本機を使う

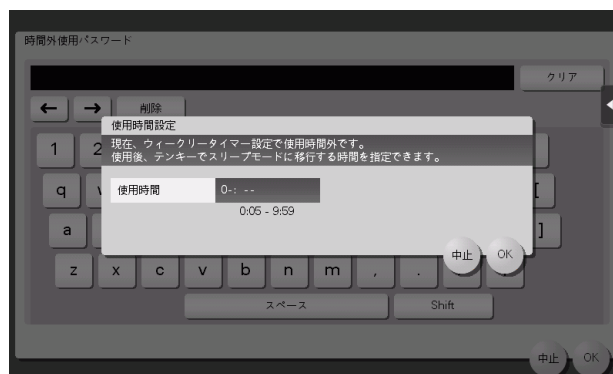
ウィークリータイマーを使うと、本機が節電モードのときの使用をパスワードで制限できます。ここでは、本機の使用をパスワードで制限している場合に、本機を一時的に使う手順を説明します。

- 1 電源キーを押します。

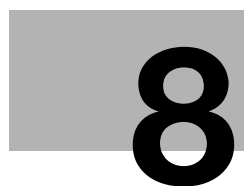


- 2 パスワードを入力し、[OK] をタップします。

- 3 節電モードに戻るまでの時間をテンキーで入力し、[OK] をタップします。
→ 数字の入力エリアをタップするとテンキーを表示します。



トップメニューが表示されます。



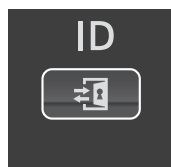
ログイン画面について

8 ログイン画面について

本機にログインする

本機でユーザー認証や部門管理を導入している場合は、**タッチパネル**にログイン画面を表示します。

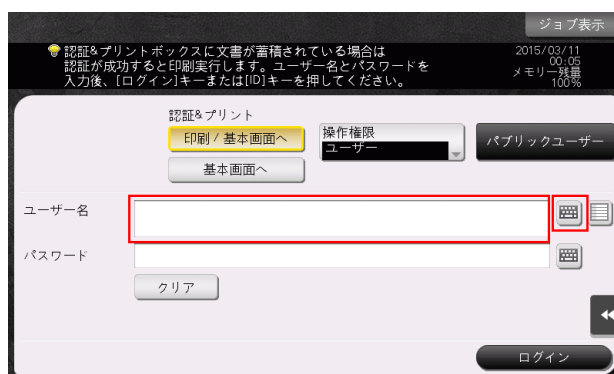
ログイン画面で、ユーザー／部門の名前とパスワードを入力し、[ログイン] をタップするか、または ID を押すと、認証を実施します。目的の操作が終わったら ID を押し、ログアウトします。



ユーザー認証（本体装置認証）を実施する

ユーザー名とパスワードを入力し、ユーザー認証を実施します。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- 1 [ユーザー名] の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップします。
 - パブリックユーザー（登録されていないユーザー）の使用を許可している場合は、[パブリックユーザー] をタップすると、ログインできます。



- ログイン画面に、ユーザー名の一覧を呼出すリストアイコンを表示するかどうかを選べます（初期値：[表示しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
- ユーザー名の一覧を呼出すリストアイコンをタップすると、ユーザー名の一覧を表示して、ログインするユーザーを選べます。
- 登録ユーザーに管理者権限やボックス管理者権限が付与されている場合は、操作権限を選択してログインできます。ログイン方法について詳しくは、8-6 ページをごらんください。

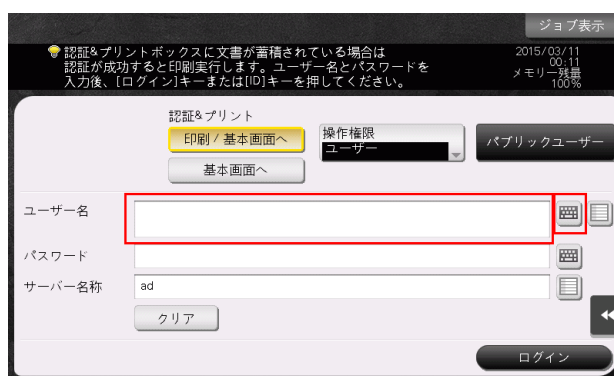
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をタップします。

- 3 [ログイン] をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。
 - ユーザー認証と部門管理を導入し、ユーザー認証と部門管理が連動していない場合は、このあと部門認証が必要です。詳しくは、8-5 ページをごらんください。
 - ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、部門認証は不要です。
 認証に成功すると、本機にログインします。ログイン中は、ユーザー名が画面の上部に表示されます。
- 4 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。
 - ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。
- 5 ログアウトの確認画面で [はい] をタップします。
 - ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

ユーザー認証（外部サーバー認証）を実施する

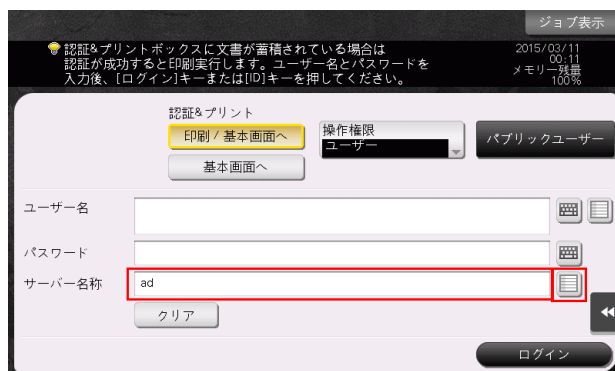
ユーザー名とパスワードを入力し、認証を実施するサーバーを選びます。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- 1 [ユーザー名] の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップします。
 - パブリックユーザー（登録されていないユーザー）の使用を許可している場合は、[パブリックユーザー] をタップすると、ログインできます。



- ログイン画面に、ユーザー名の一覧を呼出すリストアイコンを表示するかどうかを選べます（初期値：[表示しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
 - ユーザー名の一覧を呼出すリストアイコンをタップすると、ユーザー名の一覧を表示して、ログインするユーザーを選べます。
 - 登録ユーザーに管理者権限やボックス管理者権限が付与されている場合は、操作権限を選択してログインできます。ログイン方法について詳しくは、8-6 ページをごらんください。
- 2 ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をタップします。

- 3 複数の認証サーバーをお使いの場合は、[サーバー名称] の入力エリアまたはリストアイコンをタップし、認証を実施するサーバーを選びます。
- 初期設定では、初期値として登録されている認証サーバーが選ばれています。



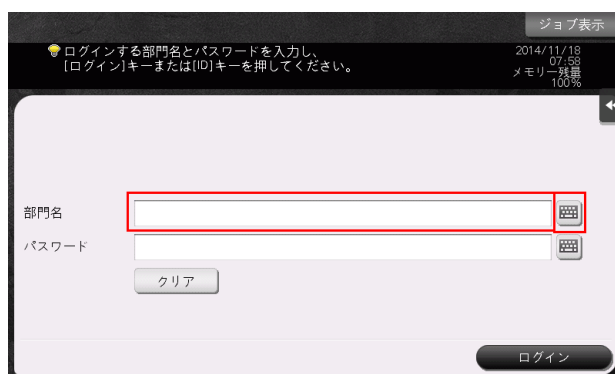
- 4 [ログイン] をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。
- ユーザー認証と部門管理を導入し、ユーザー認証と部門管理が連動していない場合は、このあと部門認証が必要です。詳しくは、8-5 ページをごらんください。
- ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、部門認証は不要です。
- 認証に成功すると、本機にログインします。ログイン中は、ユーザー名が画面の上部に表示されます。
- 5 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。
- ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。
- 6 ログアウトの確認画面で [はい] をタップします。
- ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

部門認証を実施する

部門名とパスワードを入力し、部門認証を実施します。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- ✓ ユーザー認証と部門管理を導入し、ユーザー認証と部門管理が連動していない場合は、先にユーザー認証を実施します。本体装置認証を実施する場合は、8-2 ページをごらんください。外部サーバー認証を実施する場合は、8-3 ページをごらんください。
- ✓ ユーザー認証と部門管理が連動している場合は、部門認証は不要です。

- 1 [部門名] の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップします。
 - パスワードだけで部門認証を実施する場合は、**テンキー**が表示された状態になっています。パスワードが数字だけの場合は、直接パスワードを入力することができます。
 - パスワードに文字が含まれている場合は、[パスワード] の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップし、パスワードを入力します。



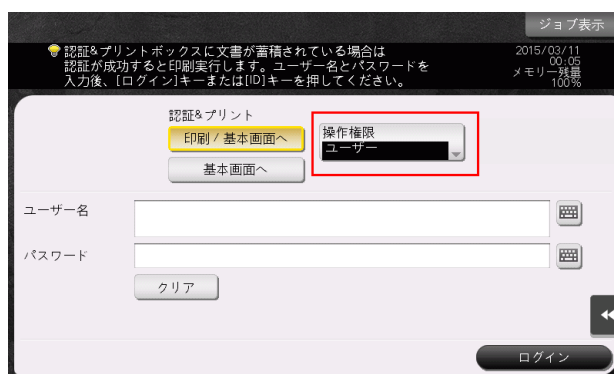
- 2 部門名とパスワードを入力し、[OK] をタップします。
- 3 [ログイン] をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。

認証に成功すると、本機にログインします。ログイン中は、部門名が画面の上部に表示されます。ユーザー認証と部門管理を併用している場合は、ユーザー名が画面の上部に表示されます。
- 4 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。
 - ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。
- 5 ログアウトの確認画面で [はい] をタップします。
 - ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

操作権限を選択してログインする

登録ユーザーに管理者権限やボックス管理者権限が付与されている場合は、操作権限を選択してログインできます。本機の認証設定によって、ログイン画面の表示が異なることがあります。

- 1 「操作権限」をタップし、ログインするユーザーの操作権限を選びます。
 - 登録ユーザーとしてログインする場合は、「ユーザー」を選びます。
 - 管理者としてログインする場合は、「管理者」を選びます。
 - ボックス管理者としてログインする場合は、「ボックス管理者」を選びます。ボックス管理者について詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。



- 2 「ユーザー名」の入力エリアまたはキーボードアイコンをタップします。
 - ログイン画面に、ユーザー名の一覧を呼出すリストアイコンを表示するかどうかを選べます（初期値：[表示しない]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。
 - ユーザー名の一覧を呼出すリストアイコンをタップすると、ユーザー名の一覧を表示して、ログインするユーザーを選べます。
- 3 ユーザー名とパスワードを入力し、「OK」をタップします。
- 4 「ログイン」をタップするか、または ID を押し、本機にログインします。
- 5 目的の操作が終わったら、ID を押してログアウトします。
 - ログイン中に本機を操作しない時間がしばらく続くと（初期値：[1] 分）、自動的にログアウトします。
- 6 ログアウトの確認画面で「はい」をタップします。
 - ログアウトの確認画面を表示するかどうかを選べます（初期値：[表示する]）。詳しくは、「ユーザーズガイド [機能 / 設定キーの説明] / [設定メニュー]」をごらんください。

参考

- 「操作権限」で「管理者」または「ボックス管理者」を選択してログインした場合、登録ユーザーに設定された機能制限および印刷枚数の上限は解除されます。
- 「操作権限」で「管理者」を選択してログインした場合、管理者パスワードなしで管理者設定を表示できます。



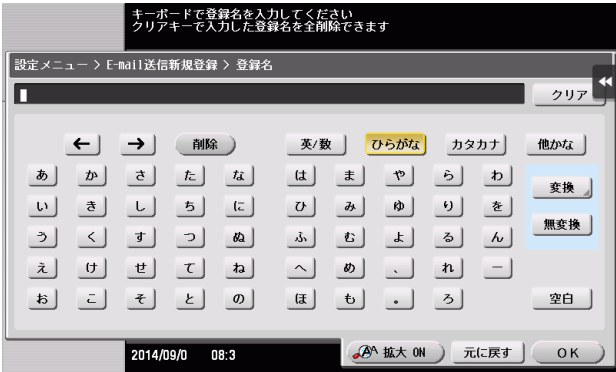
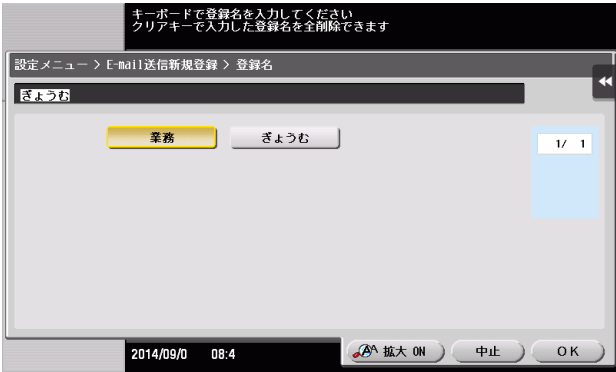
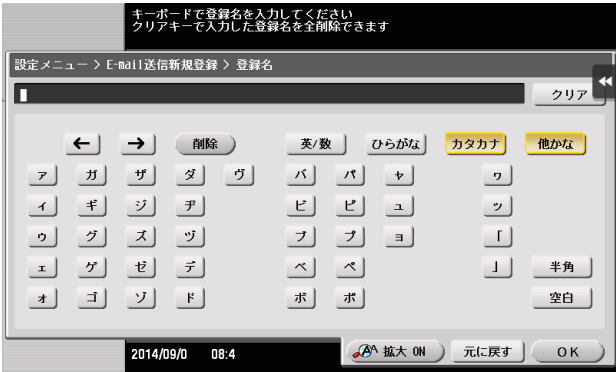
文字入力のしかた

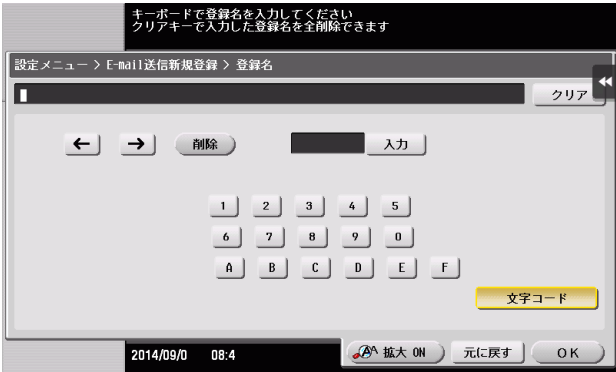
9 文字入力のしかた

宛先登録や、プログラムの登録など、文字の入力が必要なときは、タッチパネルに表示されるキーボード画面を使います。



項目	説明
キーボード	入力する文字のキーをタップします。
[クリア]	入力した文字や値を削除します。
[←] / [→]	カーソルを動かします。
[削除]	入力した文字を 1 文字ずつ削除します。
[英 / 数]	英数字を入力するときにタップします。 - 全角の英数字を入力するときは [全角] をタップします。 - 大文字、記号を入力するときは [Shift] をタップします。

項目	説明
[ひらがな]	ひらがなや漢字を入力するときにタップします。 - 濁音や半濁音、拗音などを入力するときは〔他かな〕をタップします。  - 漢字に変換するときは〔変換〕をタップして、表示された候補から漢字を選びます。  - 漢字に変換しないときは、〔無変換〕をタップして文字を確定します。
[カタカナ]	カタカナを入力するときにタップします。 濁音や半濁音、拗音などを入力するときは〔他かな〕をタップします。 

項目	説明
[文字コード]	16進数（1～0、A～Fの組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力するときにタップします。 
[拡大 ON]	キーボードを拡大表示します。 拡大表示を解除するときは、[拡大 OFF] をタップします。 
[中止]	入力を中止し、前の画面に戻ります。 入力した文字や値は削除されます。
[元に戻す]	入力した文字や値を削除します。
[OK]	入力した文字や値を確定します。

10

Android/iOS 端末を使って文字を入力する (Keyboard Link)

10 Android/iOS 端末を使って文字を入力する (Keyboard Link)

10.1 Keyboard Link 機能について

Keyboard Link は、Android/iOS 端末で入力した文字を、Remote Access を使って本機の操作パネルに転送する機能です。

本機の操作パネルで文字を入力するとき、使い慣れた文字入力アプリケーションを利用できます。



- この機能を使うには、Android/iOS 端末に Remote Access のインストールが必要です。

10.2 Keyboard Link の準備

10.2.1 準備の流れ

本機をネットワークに接続する

- LAN ケーブルの接続を確認する
- ネットワーク設定を確認する
 - 本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。



Keyboard Link の使用環境を準備する

- Keyboard Link 機能を有効にする
 - 本機で、Android/iOS 端末からの Remote Access を使った接続を許可し、Keyboard Link 機能を有効に設定します。
- Android 端末と連携するための設定をする
 - 本機で NFC を使用できるように設定します。あわせて、Android 端末を本機に接続するときに必要な本機のネットワーク情報を設定します。
- iOS 端末と連携するための設定をする
 - 本機で Bluetooth LE を使用できるように設定します。あわせて、iOS 端末を本機に接続するときに必要な本機のネットワーク情報を設定します。

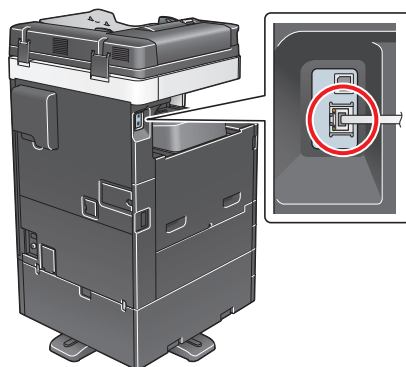


準備完了

10.2.2 お使いになるために必要な作業（管理者向け）

LAN ケーブルの接続を確認する

本機の LAN ポートに、ネットワークに接続された LAN ケーブルが接続されていることを確認します。



ネットワークの設定を確認する

本機に IP アドレスが割当てられていることを確認します。[設定メニュー] - [装置情報表示] をタップし、IP アドレスが表示されていることを確認します。



参考

- IP アドレスが表示されていない場合は、ネットワーク設定が必要です。詳しくは、「ユーザーズガイド [Web 設定ツール] / [お使いになるために必要な作業]」をご覧ください。

Keyboard Link 機能を有効にする

本機で、Android/iOS 端末からの Remote Access を使った接続を許可し、Keyboard Link 機能を有効に設定します。

設定のしかたについては、**Web Connection** を使って説明します。詳しくは、「ユーザズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。

Android 端末と連携するための設定をする

Android 端末から Remote Access を使って本機に接続するときは、本機の NFC 機能を使用すると便利です。本機の NFC 機能を使用すれば、Android 端末を本機の**操作パネル**のモバイルタッチエリアにかざすだけで、Remote Access で簡単に本機に接続することができます。

本機で NFC を使用できるように設定します。あわせて、Android 端末を本機に接続するときに必要な本機のネットワーク情報を設定します。

設定のしかたについては、**Web Connection** を使って説明します。詳しくは、「ユーザズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。

iOS 端末と連携するための設定をする

iOS 端末から Remote Access を使って本機に接続するときは、本機の Bluetooth LE 機能を使用すると便利です。本機の Bluetooth LE 機能を使用すれば、本機に iOS 端末を近づけて Remote Access を操作することにより、本機への接続が簡単にできます。

本機で Bluetooth LE を使用できるように設定します。あわせて、iOS 端末を本機に接続するときに必要な本機のネットワーク情報を設定します。

設定のしかたについては、**Web Connection** を使って説明します。詳しくは、「ユーザズガイド [Web 設定ツール] / [外部のアプリケーションと連携する]」をごらんください。



参考

- この機能を使うには、オプションの**ローカル接続キット（音声ガイド/Bluetooth 用）**が必要です。また、サービスエンジニアによる設定が必要です。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

10.3 文字の転送のしかた

Android 端末をお使いの場合

NFC を使って Remote Access で本機に接続し、Keyboard Link を実行する手順を説明します。

- ✓ Remote Access を使って本機に接続するときに NFC を使用する場合は、あらかじめ本機または本機へ接続可能なアクセスポイントに Android 端末を接続しておいてください。

- 1 本機の**操作パネル**で文字を入力する画面を表示します。
- 2 Android 端末で Remote Access を起動し、[Keyboard Link] をタップします。
- 3 Android 端末で、**操作パネル**に転送する文字を入力します。
- 4 Android 端末を本機の**操作パネル**のモバイルタッチエリアにかざします。
 - Android 端末がスリープモード（スクリーンオフ）または画面ロック状態の場合は、Android 端末のスリープモードを解除し、画面ロックを解除してから、モバイルタッチエリアにかざしてください。

Remote Access が起動します。入力した文字が本機の**操作パネル**に転送されます。**操作パネル**にすでに文字が入力されている場合は、転送した文字に上書きされます。



参考

- Keyboard Link の操作方法について詳しくは、Remote Access のヘルプをごらんください。

iOS 端末をお使いの場合

Bluetooth LE を使って Remote Access で本機に接続し、Keyboard Link を実行する手順を説明します。

- ✓ Remote Access を使って本機に接続するときに Bluetooth LE を使用する場合は、あらかじめ本機または本機へ接続可能なアクセスポイントに iOS 端末を接続しておいてください。

- 1 本機の**操作パネル**で文字を入力する画面を表示します。
- 2 iOS 端末で Remote Access を起動し、[Keyboard Link] をタップします。
- 3 iOS 端末の画面で装置を検索し、検索結果に表示される Bluetooth LE 装置から本機を選択します。
- 4 iOS 端末で文字を入力し、[Send] をタップします。

入力した文字が、本機の**操作パネル**に転送されます。**操作パネル**にすでに文字が入力されている場合は、転送した文字に上書きされます。



参考

- Keyboard Link の操作方法について詳しくは、Remote Access のヘルプをごらんください。

お問い合わせ窓口

■ 製品の仕様・取扱方法やアフターサービスに関するご相談

インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

■ 消耗品のご注文・お問い合わせ

消耗品受付窓口

0120-176-109

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えにならないようお願いいたします。

●受付時間 月～土曜日（日・祝日はお休みさせていただきます。）

平日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00

ホームページ <http://www.muratec.jp/ce/>

●この取扱説明書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。